

県弓連 役員、支部長
高校弓道部顧問 各位

令和2年6月18日

長野県弓道連盟
会長 外藪公毅

高校生以下の審査会におけるビデオ審査について

(長野県弓連の対応)

日頃は県弓連の運営にご理解とご協力いただき、御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止策として9月までの諸行事が中止となり、弓士の皆様には練習もままならず何かと不自由を感じておられることかと思えます。

4月末の全弓連の理事会で高校生以下(特に高校3年生)に審査の機会を与えようということによって本年度に限り特例としてビデオ審査の実施が決められ、5月末にビデオ審査の要領(ガイドライン)が示されました。

県弓連としても実施の可否についてジュニア部、審査部と協議を重ねた結果、以下の理由でビデオ審査は採用しないこととしました。

不採用の理由

1. 5月末で休校が解除されたが未だ本格的なクラブ活動が行われている状況ではない。安全に引けるまでに時間を要する。
2. 県高校総体が中止になり、3年生は活動の機会を失い、練習をあまり行っていない。
3. 長野県は地理的に広く、また弓道部も多くビデオ審査を行うに当たって受審者の調査、機器、会場の準備、審査委員の指導等時間を要する。
4. 本年度に限りの特例であり、それにあまり労力、費用を掛けたくない。
5. ビデオ審査以外に以前の審査方式に近い形で安全に行える方法を模索中である。

10月以降の行事については、全弓連では7月中に判断することになっています。10月から地方審査が行えるようになっても、100%以前と同じ条件とはならないかと思えますが、今から対応できるように準備しておきます。

大勢の受審者をお待ちしています。

以上